

株式会社ジェイコムさいたま 所沢局 放送番組審議会 議事録

2015年度の放送番組審議会は、2015年12月1日(火)にジェイコムさいたま 所沢局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

秋 草 征 志 様	粕 谷 信 由 様 (桑原茂 氏代理)
高 麗 潔 様	三 浦 峰 高 様
村 岡 功 様	安 田 敏 男 様
山 路 洋 子 様	(50音順)

ご欠席

梅 沢 定 彦 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき、報告があった。

【審議 質疑応答】(高麗会長による進行)

■『デイリーニュース』について

(委員) 所沢市長選挙では、過去の選挙の投票率を比較するなど構成も良く考えられ、空撮映像を用いて映像的な観点からも見栄え良くまとまっていた。市長選挙は話題性が高く、速報番組では他のメディアよりタイムリーな結果速報となった。

一方、候補者の過去の実績についての説明が少ないと感じたので今後に期待する。

市長選挙以外では、地域市民の顔や声をもっと出すと加入促進に繋がると思う。

市民が表彰されている場面では、受賞者の名前をテロップで出した方が良い。

アナウンサーが下を向いたまま原稿を読んでいる時間が長く、視聴者に向かって伝えてほしい。番組の構成はとても良いがスタジオのセットでぬいぐるみが沢山並んでいてごちゃごちゃしている印象。地域のキャラクターで仕方ないとは思いますがもう少し工夫がほしい。

所沢のメジャーな話題はもちろん、身近に感じられるローカルな情報の取上げを希望する。

そして市長のメッセージはナレーションだけでなく、生の声でも伝えてもらいたい。

■『イイとこTV』について(特番「ところざわまつり」)

(委員) 今年の「ところざわまつり」は、市制65周年、商工会議所創立65周年を迎える周年事業で5年に一度、商工会議所が協賛し2日間の開催となった。(通年は1日間の開

催)。

J:COM ではこの2日間密着取材し特集として放送してもらった。リポーターは明るく、言葉もはっきりとした方で、祭りの準備段階から取材され祭りの歴史や意味合いなどが伝えられて良かった。

祭りには地元の市民クラブも深く関わっていて、顔知れた市民が映ると J:COM を身近に感じる。毎年祭りの裏方にいるため祭りの表情を見ることができて大変良かった。

■まとめ

(委員) 現在、コミチャンはお年寄りの方が多く見られていると思うが、若い世代のサークルや市民を登場させれば視聴者の拡大が図れると思う。

所沢は緑の多い地域の為、散歩に適した場所の紹介を望む。

昨日放送した、「イイとこ散歩」ではリポーターが狭山湖・多摩湖を紹介していたが、リポーターの表情ばかりが映っている。もっと周りの景色を取入れ、狭山湖・多摩湖についての情報、例えば「狭山湖、多摩湖は東京の水がめである」などのナレーションが入ると良い。

(事業者) 本番組はあえてのんびりとした演出としたため情報やナレーションを少なくした。今後は適宜テロップによる情報提供を行う。

(委員) 番組作りのための地域情報について J:COM ではどのように収集しているのか？

(事業者) 番組ではホームページに寄せられた情報を参考としている。

(委員) 所沢で開催される大きなイベントは J:COM に取材していただき、多くの方にその内容を伝えてほしい。

(事業者) 本日は各委員からの貴重なご意見、ご要望をこれからの番組制作に活かしていくと共に、更に期待されるチャンネルとなるよう努力していきたい。

以上